

今月のピックアップ記事

終了式・オリエンテーションの開催状況

新型コロナウイルスの感染拡大は、イベント自粛や学校の休校など、社会に深刻な影響を与えています。ロータリー地区においても例外ではなく、例年2～3月に各地区で開催される米山奨学生の終了式も今年は中止や縮小を余儀なくされた地区が多くありました。



現在、当会では、終了式およびオリエンテーションの開催状況について、各地区にアンケートを実施中です。3月11日現在、34地区中27地区から回答をいただいております。終了式について「中止した」という地区は17地区、「予定通り開催した」と回答した10地区も、「規模を縮小して実施」、「懇親会は行わず授与式のみ」など、感染予防に最大限配慮した対策が取られました。

4月上旬から5月にかけて各地区で開催されるオリエンテーションについては、新規奨学生への重要事項の説明の場であることから、現時点では「予定の日程通り開催する」と回答した地区が多いものの、「今後の状況により延期・中止の可能性あり」とする地区もあり、まだ流動的な状況です。集合型オリエンテーションの中止を決定し、「地区委員が手分けして電話で説明」、「奨学会のパワーポイント資料の解説動画をつくり、奨学生には視聴後に感想文を提出してもらう」などで対応する地区もあります。

過去に経験したことのない困難な状況の中で新学年度がスタートしますが、米山奨学生たちが「ロータリーと出会って本当に良かった」と言ってくれるよう、当会としましても、各地区と連携して万全を期す所存です。何とぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight240_pdf.pdf

物故会員

月信3月号掲載の物故会員記事にて塚原勉様の所属RCに誤りがありました。お詫びを申し上げ改めて今号に掲載させていただきます。今後十分に気を付けて参りますので、ご容赦の程お願いいたします。



つか はら つとむ 2020年1月31日逝去(享年77歳)
 塚原 勉 1984年11月1日入会

訃報 ご冥福をお祈りいたします

(小山RC)
 ロータリー歴

<会長・副会長>
 ・2012-2013 会長
 ・2011-2012 副会長兼クラブ奉仕常任委員長
 <幹事・副幹事>
 ・1999-2000 幹事 ・1998-99 副幹事
 <委員長>
 ・1986-87 雑誌委員会 ・1988-89 広報委員会
 ・1990-91 プログラム委員会 ・1993-94 R財団委員会
 ・1994-95 国際奉仕委員会 ・1997-98 職業分類委員会

・2001-02 R情報委員会
 ・2002-03 社会奉仕委員会
 ・2005-06 米山奨学会
 ・2007-08 SAA
 ・2009-10 出席委員会
 ・2014-15 R財団 米山記念常任委員長
 ・2015-16 社会奉仕常任委員長 社会国際奉仕委員会
 ・2016-17 会員増強 職業分類委員会
 ・2017-18 プログラム委員会
 ・2018-19 会員選考委員会
 ・2019-20 会員選考 会員組織常任委員長

寄付歴

<R財団>
 マルチプル ポールハリスフェロー
 PHF+3

<米山記念奨学会>
 米山功労者 マルチプル 第5回



ひろ せ あつ お 2020年3月11日逝去(享年62歳)
 廣瀬 淳雄 2007年11月27日入会

訃報 ご冥福をお祈りいたします

(宇都宮北RC)

ロータリー歴

2011-12 国際奉仕委員長 2013-16 職業分類委員長
 2012-13 会員選考委員長 2016-17 会員組織委員長

寄付歴

マルチプル・ポール・ハリスフェロー
 マルチプル米山功労者



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 TEL.028-651-2550 FAX.028-651-2551
 e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : <http://www.rid2550.com/>

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Rotary | ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区(栃木) 2019-2020 4月号 Vol.10



峯岸勢晃作

窯変米色青瓷面取大壺
 Seiko Minegishi
 Size : W32.7cm H43.0cm

Profile

陶歴

1998年 北関東陶芸展 毎日奨励賞受賞
 2001年 「千年の扉」(栃木県立美術館)
 2001年 ニューヨーク クリスマス オークション 4回出品
 2014年 「展開する力」(益子陶芸美術館)
 2018年 「青の時代」現代日本の青磁(益子陶芸美術館) 窯変米色青瓷
 出展 2019年 ジョーンB マービス コレクターズツアー アメリカより2回目来訪

所蔵

・アメリカ ルイジアナ州 ニューオリンズ美術館
 ・アメリカ ロードアイランドデザイン学校付属美術館
 ・新潟 北方文化博物館
 ・静岡磐田 シルクロードミュージアム
 ・ファインバーグ コレクション

現在 栃木県那須町在住

CONTENTS

● ロータリーの目的	1	● 新型コロナウイルス感染拡大に伴う危機管理について	7
● 四つのテスト	1	● 米山記念奨学会およびロータリー財団 功労者	8
● 川嶋ガバナーメッセージ	2	● RI2550地区米山記念奨学会修了式・歓送会	9
● インターシティミーティング報告	3	● コーディネーターNEWS	10
● 2月会員増強・出席報告	6	● ハイライトよねやま	11
● 地区主要行事	6	● 物故会員	11

ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

The 4-WAY TEST

言動はこれに照らしてから

- 1** 真実かどうか？
ex.顧客に対し、最良の品質・最良の技術を提供しているか？
- 2** みんなに公平か？
ex.従業員に対し、安全で快適な職場を提供しているか？
- 3** 好意と友情を深めるか？
ex.業界において公正かつ誠実であり、同業者とともに手を携え、職業倫理の高揚に努めているか？
- 4** みんなのためになるかどうか？
ex.納入業者に対し、公正で友好的な関係を築いているか？

言動はこれに照らしてから行うべし



川嶋ガバナーメッセージ



ごあいさつ

2019-2020年度
国際ロータリー2550地区 ガバナー
かわしまゆきお
川嶋 幸雄 【栃木RC】



「ロータリーは世界をつなぐ」
~ROTARY CONNECTS THE WORLD~

新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。この原稿を書いているのは2020年3月20日ですが、感染者は全世界に広まり、死者も1万人を越えました。

経済の悪化が懸念されます。株価も大きく下がり、とても心配な状況です。リーマンショックを思い出しますが、あの時は問題が明確に見えていましたが、今回はウイルスの問題でこの先いつ終息するのかがわかりません。その不安が、この危機に一層の拍車をかけているように感じます。町が封鎖され、国から出られなくなり、世界中の人の動きが止まっています。往来が無くなることは、経済にとっては大変な打撃です。100年に1回の危機かもしれません。

そんな中、あらゆる国、組織、人間に危機管理の準備が出来ているかどうかが問われています。特にリーダーには、適切な判断と強いリーダーシップが求められていると思います。こんな時、ポイントになることは、正確な情報を集め、過去の経験に学び、その上で

判断したことを、素早く果敢にアクションすることではないでしょうか。誰かの判断や助けを待っている余裕はありません。そのことが、全世界の、全組織のリーダーに求められていると思います。ロータリアンの皆さまも、リーダーの方々ばかりです。ぜひ、会社や地域、クラブのために強いリーダーシップを発揮していただきたいと思います。

ロータリーにおいても6月のハワイでの国際大会が残念ながら中止となってしまいました。当地区でも、危機管理委員会を何度も開き対応を考えています。交換留学生も帰国させることとしました。地区の行事や各クラブの例会、いくつかのグループのIMも中止となっています。皆さんが、一生懸命に準備されてきたものばかりなので、たいへん残念ですが、こういった非常時は協力し合うことが重要です。みんなで助け合い、このマイナスの状況をプラスに転換出来るように頑張っていきましょう。一日も早く、いつもの日々に戻れることを願っております。

インターシティミーティング報告

第9グループ／2月8日（土）

佐野RC・葛生RC・田沼RC・佐野東RC

第9グループガバナー補佐 金子 重雄

2020年2月8日（土）、第9グループのIMがホテルサンルート佐野を会場に開催されました。第9グループは佐野市内の佐野、葛生、佐野東、田沼の4つのクラブで構成され、総勢161名のロータリアンが加入しておりますが、当日は114名の参加をいただきました。ご来賓として、佐野市長岡部正英様、パストガバナー佐野正行様のご臨席を賜り、厳粛に、有意義な会合となりました。

IMの目的はグループ内の会員が一同に会し、研修を行うとともに、参加された会員相互の親睦を深めることにあると思います。まず研修である第1部の本会議では、各クラブの会長からクラブの現況報告をしていただきました。パワーポイントでそれぞれのクラブの活動状況をご披露いただきました。その後、栃木西クラブの元ガバナー補佐の石崎常蔵様に、『栃木の偉人、古澤文作』のテーマでご講演いただきました。本年度の川嶋ガバナーは6つの地区目標を掲げましたが、米山奨学会の設立に大きく貢献された栃木市出身の古澤文作さんの功績を学び、称える活動を提唱されました。実行委員会

で本年度のIMの研修にふさわしい演題であると考え、そして多くの外国人留学生を支援している米山奨学会をさらに理解して、支援が広がることを願い、研修会を実施いたしました。

そして、第2部ではIMのもう一つの目的である会員相互の親睦を図る懇親会を開催いたしました。アトラクションとして、地元のSAEKOさんによるジャズのミニコンサートを実施いたしました。限られた時間でありましたが、実のある懇談をすることができました。最後に参加者全員で『手に手つないで』を合唱し、大きな輪を作り、クラブ間の会員同士の友情と親睦を深めあいながら散会となりました。

今回のIMを開催するにあたり、各クラブの会長、幹事さん、そしてホストクラブである田沼クラブの田村実行委員長をはじめとする会員の皆様にたいへんお世話になりました。予定通り、和やかに、無事に終了いたしましたことに心から感謝いたしております。

以上、第9グループインターシティミーティングの報告とさせていただきます。



インターシティミーティング報告

第6グループ／2月16日（日）

栃木RC・栃木西RC・岩舟RC・壬生RC・栃木南RC

第6グループガバナー補佐 狐塚 育男

2月16日（日）ホテルサンルート栃木に於いて、栃木西RCをホストクラブとして栃木RC、壬生RC、栃木南RC、岩舟RCの5クラブ、登録会員数147名で第6グループIMが開催されました。

今年度は、川嶋幸雄ガバナーが提唱する「古澤文作顕彰」の元年に当たるといふことで、本来でしたらIMにはガバナーは出席しないことになっていましたが特例として出席して頂き、古澤文作研究の第一人者による講演、アトラクションには古澤文作氏のお孫さん夫婦による演奏、会場には氏の姪御さんお二人を招待するという「古澤文作」一色のIMでした。

このIMは大きく分けて最初に、新入会員セミナー、次に、IM本会議、最後に、懇親会と3部構成とし、新入会員セミナーには前年に引き続き落合パストガバナーに講師をお願いしロータリーの歴史、ロータリアンとしてあるべき姿等々の貴重なお話を頂き、新入会員の皆さんにとって有意義なセミナーとなりました。

本会議では、物故会員に対する黙禱に始まり、5クラブ会長によるクラブ紹介、新入会員紹

介、そしてタイとフランスからの交換留学生の日本語によるスピーチ、また中国からの米山奨学生によるスピーチ、そして上記した古澤文作研究の第一人者である栃木西RC会員、石崎常蔵氏による「栃木の偉人 古澤文作」をテーマにした記念講演、最後には東京在住で古澤文作氏のお孫さんにあたる古澤裕治ご夫妻によるクラシック音楽をお聴きし、と盛沢山の内容でした。古澤裕治ご夫妻には、11月の地区大会の時に実施された「古澤文作顕彰記念碑」設置記念式典の時に招待したことがきっかけとなり、またご夫妻が演奏家であり東京のロータリークラブの例会で演奏をしたことがあるということ、このIMでの演奏となった次第です。

最後の懇親会では、再び古澤文作氏のお孫さん達による演奏があり、ポピュラー音楽を聴きながらお酒を酌み交わし、楽しい懇親の一時となりました。

このIMは、グループ内最大の重要行事であって、会員相互の親睦を深め、ロータリーの知識を更に深めることを目的としていますので、それがほぼ達成されたのではないかと思います。



インターシティミーティング報告

第5グループ／2月23日（日）

小山RC・小山南RC・小山東RC・小山北RC・小山中央RC

第5グループガバナー補佐 倉井 洋治

2020年2月23日（日）小山グランドホテルに於いて開催をしました。

本年度は東京オリンピックの年であり、日本人初の国際オリンピック委員を務めた講道館柔道創始者 嘉納治五郎師範から学んだ「自他共栄」の精神で「ロータリーがつながり会員増強と親睦を深める事に尽くしたい」「楽しくなければロータリーじゃない」を目標にガバナー補佐として活動し、本年度のIM記念講演は幻のモスクワオリンピック柔道日本代表であり、寝技の神様と言われた国際武道大学名誉教授 柏崎克彦先生にお願いすることに致しました。演題は『柔道の教育力』で大いに勉強になりました。

記念事業としましては、青少年の健全育成に寄与する観点から、財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウスとちぎへの支援及び小山地区内の各少年柔道教室に備品を送りました。引き続き行われた懇親会では、次年度ガバナー補佐の慶野保夫様の乾杯発声により開宴し、アトラクションとして「エンジェルス」のレビューショーが行われ、大いに盛り上がりました。第

5グループ内の親睦と友情の輪をより広げることができたと思っております。

最後に突然のコロナウィルス問題が起こり、不安の声が大変多い中ではありましたが、ロータリアンの皆様のご指導とご協力のおかげで無事IMを挙行することが出来ました。

改めて第5グループの皆様のご協力に感謝をここに記し、IM開催報告を終えたいと思います。

誠にありがとうございました。



国際ロータリー第2550地区2月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	例会数	出席率		会員数															
			2月	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員	40歳未満								
第1グループ	大田原	4	75.71	26	29	0	0	3	0	3	1	0								
	黒磯	2	93.00	37	37	0	0	2	2	0	2	1								
	西那須野	2	83.17	50	50	0	0	1	1	0	2	0								
	黒羽	4	87.50	8	8	0	0	0	0	0	0	1								
	塩原	2020.1.31 終結	6	0	0	6	0	6	-6	0	0	0								
第2グループ	大田原中央	4	91.67	22	24	0	0	2	0	2	1	2								
	烏山	3	70.36	17	18	1	0	1	0	1	2	0								
	氏家	3	90.28	24	25	1	0	1	0	1	2	0								
	矢板	3	69.90	12	14	1	0	2	0	2	2	0								
	馬頭小川	3	91.00	21	21	0	0	0	0	0	0	0								
第3グループA	高根沢	3	81.00	15	16	0	0	1	0	1	0	0								
	宇都宮	3	68.80	101	108	0	0	9	2	7	1	2								
	宇都宮西	4	74.07	80	81	0	0	3	2	1	0	2								
	宇都宮北	4	81.16	43	44	0	0	3	2	1	0	0								
	宇都宮90 (宇都宮90結・衛星)	2	40.00	5	5	0	0	0	0	0	0	3	2							
第3グループB	宇都宮陽北	3	80.25	38	40	0	0	3	1	2	8	7								
	宇都宮東	3	85.96	123	124	0	0	3	2	1	0	2								
	宇都宮南	4	73.76	53	53	1	0	5	5	0	2	2								
	宇都宮陽東	5	82.00	55	55	0	0	1	1	0	10	2								
	宇都宮陽南	3	79.31	27	30	0	0	3	0	3	9	5								
第4グループ	宇都宮さつき	3	71.26	27	28	0	1	2	1	1	4	4								
	真岡	3	83.22	61	63	0	0	4	2	2	0	2								
	益子	4	78.00	30	30	0	0	0	0	0	2	0								
	真岡西	4	79.05	36	39	0	1	4	1	3	6	1								
しもつけ	4	84.00	26	25	0	0	0	1	-1	6	1									

区分	クラブ名	例会数	出席率		会員数															
			2月	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員	40歳未満								
第5グループ	小山	4	96.00	26	25	0	0	1	2	-1	2	0								
	小山南	4	78.40	16	16	0	0	0	0	0	3	0								
	小山東	4	87.00	21	23	0	0	3	1	2	1	0								
	小山北	4	86.10	20	22	0	0	2	0	2	0	3								
	小山中央	4	65.00	25	25	0	0	0	0	0	0	2								
第6グループ	栃木	4	67.40	46	48	0	0	3	1	2	3	0								
	栃木西	3	71.00	30	32	0	0	3	1	2	1	0								
	岩舟	3	94.40	11	12	0	0	1	0	1	0	0								
	壬生	2	84.21	19	19	0	0	0	0	0	0	2	0							
	栃木南	4	73.77	34	36	0	0	2	0	2	6	1								
第7グループ	日光	4	71.83	21	21	0	0	0	0	0	4	0								
	鹿沼	4	77.53	58	62	0	1	5	1	4	2	4								
	今市	2	61.10	44	45	0	0	2	1	1	1	1								
	鹿沼東	4	78.52	37	38	0	0	1	0	1	3	0								
	鹿沼中央	2	72.23	18	18	0	0	0	0	0	2	0								
第8グループ	今市きぬ	2	94.44	26	27	0	0	2	1	1	0	0								
	足利	3	45.98	35	34	0	0	1	2	-1	0	1								
	足利東	3	77.20	45	44	0	0	1	2	-1	6	0								
	足利西	2	95.46	11	11	0	0	0	0	0	0	0								
	足利わたらせ	3	73.96	32	33	0	0	1	0	1	0	0								
第9グループ	佐野	4	88.50	57	57	0	0	0	0	0	0	0								
	葛生	3	94.10	41	40	0	0	1	2	-1	0	0								
	田沼	3	89.40	43	42	0	0	0	1	-1	0	0								
	佐野東	3	74.30	21	22	0	0	1	0	1	2	0								
	48RC			1732	1766	4	9	84	44	40	109	47								

2019-20年度 地区内主要行事

※3月27日の時点での予定です。

月	日	曜日	行事	場所	担当
4	4	土	20-21 年度会長エレクト研修セミナー (第1G~第4G)	宇都宮グランドホテル	ホスト：大田原中央 RC
4	5	日	20-21 年度会長エレクト研修セミナー (第5G~第9G)	宇都宮グランドホテル	ホスト：大田原中央 RC
4	10	金	鹿沼ロータリークラブ創立 60 周年記念式典前夜祭	*中止	
4	11	土	鹿沼ロータリークラブ創立 60 周年記念式典	*中止	ニューサンピア栃木
4	12	日	2020-21 年度地区研修・協議会	*延期 詳細未定	国際医療福祉大学
4	16	木	第3回危機管理委員会		ガバナー事務所
4	18	土	今市ロータリークラブ創立 60 周年記念式典	*中止	鬼怒川温泉ホテル
4	18	土	宇都宮 90 ロータリークラブ創立 30 周年記念式典	*中止	宇都宮東武ホテルグランデ
4	19	日	一年交換学生オリエンテーション	*規模縮小開催	ホテルニューイタヤ
4	19	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	*延期	ホテルニューイタヤ
4	25~26	土~日	足尾植樹	*中止	足尾
4	26	日	小山東ロータリークラブ創立 40 周年記念式典	*中止	小山グランドホテル
5	17	日	第25回地区親善野球大会	*中止	河内運動公園内野球場
6	6	土	高校生 RYLA セミナー	*中止	文星女子高等学校
6	6	土	国際大会における栃木ナイト	*中止	米国 ホノルル
6	7	日	国際大会日本人朝食会	*中止	米国 ホノルル シェラトンホテル
6	7	日	20-21 年度第1回受入れホストクラブ研修会		ホテルニューイタヤ
6	21	日	米山第1回地区委員会・奨学生卓話研修会		ホテルニューイタヤ
6	23	火	宇都宮陽北ロータリークラブ創立 25 周年記念式典		

第2回「新型コロナウイルス感染拡大に伴うロータリー活動に於ける危機管理について」

米山記念奨学会およびロータリー財団 功労者

その後も新型コロナウイルス感染拡大が止まず、予断を許さない状況が続いております。そのような中、3月12日「第2回地区危機管理委員会」を開催し、今後のロータリー活動について協議いたしました。つきましては取り急ぎ協議の結果を下記の通りご案内いたします。

1. 地区行事について

- ① 3月29日(日) 受入学生の終了認証状授与式 (規模縮小)
② 4月04日(土) PETS 13:00 ~ 16:00 (1G ~ 4G 24クラブ) 開催
③ 4月05日(日) PETS 13:00 ~ 16:00 (5G ~ 9G 24クラブ) 開催
④ 4月12日(日) 地区研修・協議会 (延期・詳細未定)
⑤ 4月19日(日) 一年交換留学生オリエンテーション (規模縮小)
⑥ 4月19日(日) 米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション (規模縮小)
⑦ 5月17日(日) 第25回地区親善野球大会 (次回協議)
⑧ 6月06日(日) 高校生 RYLA セミナー (中止)

2. 青少年交換学生について

受入学生全員を早急に派遣元に返すことを基本方針とする。派遣学生に関しては、イタリアへの派遣学生を早急に帰国させる。その他の派遣学生に関しては、派遣先の地区と連絡を取り合い速やかに対処する。各遂行行事は、必要最小限の人数にて短時間での実施とする。発熱者は参加辞退して頂く。当日はマスク着用、アルコール消毒配備、参加者全員の体温測定実施。会場では参加者の席を極力離し席順の記録を残す。以上のことを守り万全を期してください。

地区危機管理委員長 鈴木 宏

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。(2019年12月~2020年2月)

米山功労者

Table listing names and contribution counts for '米山功労者' across various districts like 宇都宮西, 宇都宮南, etc.

米山功労クラブ

Table showing contribution counts for '米山功労クラブ' by district.

ポール・ハリス・フェロー

Table listing names and counts for 'ポール・ハリス・フェロー'.

ベネファクター

Table listing names and counts for 'ベネファクター'.

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

Table listing names and counts for 'マルチプル・ポール・ハリス・フェロー'.

2019学年度RI2550地区米山記念奨学会修了式・歓送会

地区米山記念奨学会委員長 長 正英 (宇都宮陽北 RC)

今般、新型コロナウイルスの影響で、ロータリー活動や各種イベントが中止または延期される中でしたが、2020年2月23日(日)宇都宮市ホテルニューイタヤにおきまして、例年通り米山記念奨学生修了式・歓送会が開催されました。

川嶋幸雄ガバナー、森本敬三ガバナーエレクト、石田順一ガバナーノミニ、羽石光臣米山記念奨学会評議員並びに地区米山カウンセラー、飯村慎一米山記念奨学会理事をお迎えして、卒業生10名中9名、カウンセラー、そして大学の指導教官の先生方、米山学友4名の総勢38名の参加でした。

ガバナーから修了に対する祝福のご挨拶をいただき、修了生一人一人に修了証、カウンセラーへは感謝状が手渡されました。修了証には日本語と英語で修了の証明が記載してあり、世界中どこへ行っても米山記念奨学生の証明になり必ず役に立つと伝えました。

私からは、米山奨学生修了後の活動について話しました。大学あるいは大学院卒業後は、日本での就職、出身国での就職、大学院進学、日本での起業と進路は様々ですが、1年あるいは2年間、米山記念奨学生としてロータリアンの方々との交流、日本文化の体験理解、一般の留学生とは違う経験を今後に生かし、卒業後が日本との懸け橋としての本当の活動になること、そしてカウンセラー、指導教官の先生との一生を通じての交流が始まるのだということをお忘れずに世界中どこへ行ってもメールはつながる時代



です。人生の転機の時はもちろん、毎年のご挨拶は欠かさずに続けてほしいとお願いしました。

最後に謝辞として奨学生を代表して足利大学工学部のダースレン シャラガー君から「2年間大変お世話になりました、ものすごい経験をさせていただきました。今後は日本で就職しモンゴルに帰ってからは、ロータリーの精神をもとに、この仕事を通じて世界に貢献したい」と力強い言葉をいただきました。

指導教官の先生からも学生一人一人の報告を受け、私たちの知らない奨学生の一面を垣間見ることができ、ありがたく思いました。

米山委員会は年間通じて様々な行事がある上に生の留学生とお付き合いできるという、うれしい反面、難しいことも多く、米山委員一同この瞬間を迎えることができ感無量でした。

4月には、新規奨学生17名が入ってきます。今後とも米山記念奨学会へご支援、ご協力お願いいたします。



Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2020年4月号

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

COVID-19の拡散防止に協力するロータリー

本文昨年12月初旬に中国の武漢で発生したCOVID-19の拡散防止が大きな話題になって来ました。RIは2月27日付けで、政府によって会合の自粛要請または禁止令が出ている場合、あるいは地区リーダーが妥当であるとみなす場合は、6月末まで地区大会、地区の研修協議会、行事の自粛やオンラインでの開催など、各地区で柔軟に対応することを認めると連絡してきます。

3月8日~11日の間、RI本部(エバンストン)で2020年地域リーダー研修セミナーが予定されていて、私も参加を予定していました。2月27日には、研修担当の責任者は、「ロータリーは、エバンストン本部でのセミナーに出席される方の健康と安全を最優先しております。セミナーでは、ウイルス拡散防止のためのCDCの勧告に従い、追加の安全対策を取ります。」というコメントと共に、研修セミナーの開催を連絡して来ました。29日になると、「飛行機での旅行と大人数での会合を回避することで、ウイルス接触の可能性を減らし、皆さまと職員へのリスクを軽減できると考えております。難しい決定ではありましたが、当方では皆さまの健康と安全を最優先しております。」として研修セミナーの中止を連絡して来ました。

拙文に目を通されている方の中にも苦渋の選択を迫られていらっしゃる方がおられると思います。勇気を持って、行事の中止や延期を決断し、ロータリーの見識を世の中の人達に示すこともロータリーの公共イメージの向上に繋がるのではないかと思います。私達は世界を変える行動人です。

第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 井原 實 (さいたま新都心 RC)

会員増強の秘訣

これまで、私が全国各地でお話ししてきた「会員増強のhow-to」の講演では、いくつかの会員増強の方法をお示してきました。それを要約すれば、以下の5点です。

- 1 例会の工夫・・・現会員が例会を楽しく感じられなければ、新会員を誘ってくる訳がありません。また、新会員でも「ロータリーは楽しい」と感じて自分の知人を誘ってくるためには、やはり例会が充実していなければなりません。これは、すべて会長、幹事の責任です。これまでのやり方にとらわれず、自分たちの方法で例会を盛り上げてください。
過去に私の行った現会員向けのアンケートでは、これまで新会員をクラブに紹介したことのある会員の比率はなんと約40%という低水準であることが判明しております。反対に6割の会員は会員増強に関心か、誘うべき友人を持たないかのいずれかです。現会員全員に新会員の勧誘を依頼しても空振りは必至です。友人・知人の多そうな明るくて元気な若手会員に絞って、真剣にクラブの将来を話し合うことが必要です。
- 2 若手を中心とした毎月開催の「会員増強会議」・・・これは、若手中心という点と毎月会議を開催するという点がポイントです。ロータリーの新会員ターゲット層は若手が握っています。彼らに自由に増強を任せましょう。また、毎月開催することによって、その重要性が強調されます。若手会員に対し、「会長は増強を本気で考えている。」というメッセージを発信し、若手会員に増強を意識させることが大切です。
- 3 勧誘のツール・・・私は3つの資料を会員の皆さんに携行していただきました。①クラブの略歴書(A4版1枚に要約)、②入会申込書、③「ロータリーとは?」の解説文書(雑誌「ロータリーの友」の左から6ページの部分)の3点です。これらを常に携行し、入会の可能性のある方に遭遇したら、即、入会を説得する資料として有効でした。
- 4 メークアップの奨励・・・会員に他のクラブを知る重要性を説きましょう。私はメークをする際、メークをしたことのない若手会員にも声を掛け、「メーク・ツアー」と称して自地区内はもとより、国内の他地区や海外へのクラブにもメークに出かけました。これまで、台湾やサイパンのクラブなどにも行きました。この経験は、若手がクラブの異同を知り、本気で自クラブの運営を考える好機になるものと確信しています。
- 5 「ロータリー説明会(夕食会)」の開催・・・新会員候補者を一同に集め、会員達と一緒に夕食を囲みながらロータリーの説明をする会を実施しました。この場合の要諦は、説明をする人の人選です。ロータリー経験豊富な人、反対に入会間もない人、いろいろな人が想定されますが、共通して大切なのが、ロータリーが心底好きな人、ロータリーを楽しんでいる人に話をさせることです。孔子が『論語』にて言うには(「知好楽」のススム)、「子曰く、これを知る者は、これを好む者に如かず。これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」(訳:「これを知っているだけの者は、これを愛好する者におよばない。これを愛好する者は、これを真に楽しむ者にはおよばない」)です。

最後に、新会員勧誘の際に絶対言ってはいけない一言をお教えします。それは、「自分はいま〇〇クラブの会員増強担当なんだ。うちのクラブは会員が少なくて困っている。貴方が入ってくれば増強〇人が達成できるんだ。なんとか協力してくれないか?」です。これではダメです。自分の保身のために入ってくれ、という論法ではその人は説得できません。やはり、その人にとっていかに有益なクラブ・ライフであるかを説かなければならないのです。例えば、「貴方のこれからの人生においてロータリーは大いに価値があるものです。」と。あとは、自身が体験したロータリー・モーメントを具体例をもって話すこと。最近では、コトよりもモノが大切である、といいますが、体験談をストーリー仕立てて話す、ということが人の心を打つためには有効なようです。

第1地域ロータリーコーディネーター補佐 田中 久夫 (高崎 RC)